

袋井市非核平和都市宣言を考える

袋井勤協 第17回

平和写真展

日本が、昭和20年8月15日太平洋戦争の降伏宣言をしてから80年経過しました。戦争とは、国家間の戦いで、日本も国家総動員をしました。

終戦間近に、無力の市民を標的にした原子爆弾投下は本当に必要だったのか考えてみましょう。

今こそ「平和の尊さ、命の大切さ」について考え語り継いでいきましょう。

*日時 2025年8月11日(月)～8月20日(水) 9時～17時(但し、20日は15時迄)

*会場 市民ギャラリー 袋井市役所2階

*テーマ 「戦時中の満蒙開拓団」

*展示内容 ④写真パネル「満蒙開拓の歴史」「原爆と大戦の真実」

④平和の詩「おばあちゃんの歌」※豊見城市伊良波小学校6年 城間一步輝さん

④「2025年世界平和度指数ランキング」



(満州への移民を募集するポスター)

満蒙開拓団は、過剰人口に苦しむ日本農村の救済策、あるいは満州国の国防、食糧増産など多様な政策意図のもと国策として推進されました。村ぐるみの分損移民を奨励し日本全国から送り出されました。

しかし、敗戦前後にはソ連軍の侵攻等現地の混乱もあり約8万人が亡くなりました。

戦争をしない、させないため
「平和憲法を守り 活かしていきましょう。」

*主催：袋井市勤労者協議会

袋井市栄町5-20 ☎42-3613

*後援：

袋井市、袋井市教育委員会